



正解必須問題

「正解必須問題」という言葉は、面談やチームミーティング、振り返り学習会など、さまざまな場面で耳にしていると思います。しかし、「正解必須問題」とは、単に「簡単な問題」という意味ではありません。正解・不正解がある中で、今の皆さんなら解けるはずの問題、そして確実に解いてほしい問題のことを指します。

大学受験では、いわゆる奇問・難問を解く力よりも、取るべき問題を確実に得点する力が重要になります。特に共通テストでは、基礎知識を活用しながら資料を読み取り、条件を整理して解答する力が求められます。そのため、「難しくそうだから」と諦めるのではなく、「落ち着いて取り組めば解けた問題を取りこぼさないことが大切です」。

模試や過去問演習の復習では、正解できなかった問題の中でも、「解説を読んだら理解できた問題」や「時間配分のミス、ケアレスミスで失点した問題」に注目してみてください。それがまさに、皆さんにとっての「正解必須問題」です。

模試は、できなかったことを確認して終わる場ではなく、「次は確実に得点できる問題」を増やしていくための場です。今回の全国統一高校生テストの復習を通して、自分にとっての正解必須問題の一つずつ得点源に変え、本番で確実に力を発揮できるように準備していきましょう。



(齋藤先生)

定石問題演習・基礎定着演習

保護者説明会でもお伝えしましたが、高1・2生の皆さんにインプットである受講とともに7月・8月の夏に力を入れてほしいことがアウトプット(演習)です。成績を上げるためにはインプットとアウトプットの両方のバランスをとって進めていく必要があります。アウトプットするにもなるべ

く無駄を省いて効率的に進めたいですね。この夏は「定石問題演習講座」・「基礎定着演習講座」をしっかり進めてください。『個人別定石問題演習』

高2のうちに志望校対策の土台となる身につけるべき解き方である「定石」をしっかりと定着させるためのA1演習システムです。最初に再評価テストを受け、A1が学習履歴と合わせて最適なスタートレベルを判定します。その後は、①課題確認②演習③復習(解説・定石マスタ)④講義⑤修了判定テストという流れを繰り返して、各レベルの定石を確実に修得していきま

す。演習は例題・類題の構成で、間違えた問題は解説を読み、必要に応じて講義で補強します。日々の進捗を確認しながら、A1が提示する最適量をこなすことで、受験勉強の基礎を効率よく固められる仕組みです。『個人別基礎定着演習』

高1の夏に英文法と数学1Aの基礎を徹底的に固めるためのA1演習プログラムです。通期講座で学んだ内容を「わかる」から「確実に解ける」状態へ引き上げることを目的としています。最初に再評価テストを受け、A1が学習履歴と正答率から最適なスタートレベルを判定します。その後は、日々の目標単元数が自動で提示され、演習・解説による復習・必要に応じた基礎マスタ講義という流れで学習を進めます。



(伊勢先生)

関西学院大学 説明会

関西学院大学の入試制度や受験対策について詳しく知ることができる「関西学院大学入試説明会」を開催いたします。当日は関西学院大学の入学センターの方と一緒に、入試の特徴や最新の入試情報はもちろん、国立大学との併願の考え方、一般入試に向けた効果的な学習方法

など、これから受験を迎える高校生(3年生はもちろん、1年生・2年生も参加できます)や保護者の皆さまに役立つ内容をお伝えします。

「受験する大学をこれから決めたい」「関学に興味はあるけれど、どのような入試方式があるのか知りたい」「共通テスト利用入試や国立大学との併願について具体的に知りたい」という方にもおすすめです。関西学院大学は全14学部を擁する総合大学であり、多様な学びの選択肢があります。進路選択の幅を広げる貴重な機会として、ぜひご参加ください。

日時：7月10日(金) 19:00~20:00、会場は徳島第一ゼミ5階(東進衛星予備校徳島駅前校)です。参加は無料ですが、事前予約制となっております。興味がある人は、お気軽にご参加ください。受験のご来場を心よりお待ちしております。

(河野先生)

夏休みの学習計画

梅雨が明ければ、太陽がまぶしい本格的な夏の到来です。朝寝坊をしようと思えばいくらでもできる、宿題を後回しにしようと思えばどこまでも伸ばせる。そんな「自由すぎる時間」をどうコントロールするかが、夏休みを過ごす重要なポイントになります。新学期開始時から「学習習慣の土台」を作り、「夏休みに向けた助走」を始めてきた皆さん、夏休みは自分でリズムを考えなければなりません。そこで1日のタイムスケジュールを3つのパートに分けて計画してみてくださいいかがでしょうか?

- ①【朝パート】 脳が一番元気な時間帯に、算数・数学の証明や国語・英語の長文読解など、「思考力」が必要な問題に取り組む。②【昼〜夕方パート】

眠くなりやすい時間は、漢字や単語の暗記、学校の宿題など、手を動かす作業系の学習に充てる。③【振り返りパート】 1日の仕上げとして、今日間違えた問題で「なぜ間違えたか」一通り見直す。

また、学習内容について、これまでの弱点補強に7割位を充てて基礎基本の定着を徹底しましょう。土台を固めることで、その後の先取り学習または問題演習における知識の吸収率が劇的に上がります。効率よくこなすことも大切ですが、とにかく量をこなせるようにこの夏、取り組んでみましょう。

夏休みは長丁場です。途中で「本当に伸びているのかな」と不安になる日もあるかもしれませんが、以前お伝えした「学力の伸びは指数関数的である」ということを思い出してください。今やっている努力は、お盆過ぎ、あるいは秋口に爆発的な成果となって現れてくるはずですよ。

保護者の皆様におかれましては、「今日も良いスタートが切れたね」という声かけや、お子様の粘り強さを見守ってあげてください。「夏休み、あきらめずに取り組め」という経験は、今後の皆さんの圧倒的な自信になります。自分史上、最も熱く、最も成長した夏にしましょう!応援しています!



(市原先生)

楽しい夏休みにするために...

七月がやってきました。みなさんの心の中に、「夏休み」という言葉が浮かんでくる頃だと思えます。さあ、夏休みといえれば第一駅前学童のサマースクール!工作やクッキングなど、楽しいことが盛りだくさんです。創造性や発想力、協調性など、さまざまな力を養えるアクティビティを計画していますので、是非ご参加ください。

さて、夏休みに必ず向き合うことになるもの。それは学校の宿題です。できるだけ早くに終わらせてほしいものではないですが、一気に頑張りすぎてしまうと、勉強そのものが嫌になってしまふこともあります。そこで今回は、宿題を進める上で意識してほしいことをお伝えします。

まずは、自分に合った目標設定です。一日二日でワークを一冊仕上げられる人もいれば、コツコツ毎日進める人もいると思います。人によって進むペースが違うのは当たり前前のことです。宿題を通して、自分の集中力や問題を解くスピードなどを知っていきましょう。慣れてきたら、「今日は三ページ進めよう」など、具体的な目標を立ててみてください。提出期限まであと何日あるのかを確認し、計画的に進めていきましょう。

また、しっかりと休憩をとることも大切です。子どもも大人も、集中力はずっと続くものではありません。集中力が切れてしまったときは、思い切って休んでください。そのまま勉強を続けても、なかなか頭に入らないことがあります。一度休むことで頭の中が整理され、気持ちもリフレッシュされます。休憩の後には、また新たな気持ちで勉強を再開しましょう。家族や友達とお出かけなど、楽しみながら予定

言葉の力

NO.261

「日々、机に向かって」

今はまだ夢の途中

うまくいかない日

遠回りに思える日

その悩みも苦しみも

未来を支える礎

継続は力なり



も多い夏休みだと思えます。やるべきことはしっかりとやり遂げる、楽しむときは全力で楽しむ。そんなメリハリのある夏休みを過ごしてくださいね。(第一駅前学童・第一駅前英会話)

2026年7月の予定

- 7/5(日) 第1回 阪大・名大・東北大本番レベル模試 小6合不合格判定テスト(四谷) 7/10(金) 関西学院大学 説明会 7/12(日) 第1回 神戸大・千葉大・広島大本番レベル模試 7/18(日) 小3月例テスト、小4公開組み合わせテスト(四谷) 7/19(日) 第2回 大学合格基礎力判定テスト 小5公開組み合わせテスト(四谷) 7/20(月・祝) 第2回 早大・慶大、上理・明青立法中、関関同立レベル模試 第2回 全国国公立大 記述模試 7/23(木)・24(金) 「宿題をすませる合宿」「受験必勝夏合宿」 7/26(日) 第1回 高校レベル記述模試(高1)(高2) 第2回 九大本番レベル模試

お問合せ、お申込みはこちらから 0120-17-3759